



# おにぎり通信

2022年4月23日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

約60年前の今日、1960年4月23日に賀川豊彦が亡くなりました。キリスト教の伝道者で、労働運動や農民運動、協同組合、そしてボランティアなど、日本における様々な社会運動の先駆けとなった人で、批判されることも多かった一方、ノーベル平和賞の候補に何度もなりました。社会悪は、愛が欠けていることから生じるとして、互いに愛して助け合う社会を作ることを目指していました。

20歳の頃に肺結核がひどくなり、残り短い人生を神と隣人のために捧げようと、神戸の巨大な貧民街に移り住みます。自らを主人公として描き、ベストセラーとなった小説「死線を越えて」には、「どうせ、近い中に死ぬのだから-1年か、2年か、長く生きて3年位の中には肺で死ぬのだから、死ぬまでのありったけの勇気をもって、もっとも善い生活を送るのだと決心した。」とあります。結局、この後50年生きて、社会運動、平和運動に力を尽くしました。

福祉行動を希望の方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ



おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい

## 【サミュ・ソシアル】

1993年、フランス・パリで救急医療（SAMU、サミュ）の  
医師グザビエ・エマニュエリが、サミュ・ソシアルというサービスを  
始めました。路上生活をしている人々に出向いて行き、求められれば  
その日をしのぐ寝場所や食べ物を用意し、体の具合を見て、必要な  
治療を施す、というものです。当時のパリでは、路上で生活する人  
が増え、救急医療が十分に提供できていませんでした。

運転手、看護師、生活相談員からなるチームが、夜の街を車で回  
って、助けが必要かどうかを聞いて回ります。サミュ・ソシアルは、  
路上で生活する人の求めに、無条件かつ適切に答えることを原則とし  
ます。しかしながら、提供できる支援には限りがあり、受け入れる  
かどうかは、路上で生活する人々の自由です。

サミュ・ソシアルは、「排除」と「つながり」という2つの言葉に  
重きを置いています。住む場所や健康といった当たり前の権利を奪わ  
れ、排除された人たちのために戦います。サミュ・ソシアルも行政  
サービスの一部ですが、一般のサービスだけでは排除され取り残され  
てしまう人たちへの支援を、きめ細かく草の根で行っています。

また、人間はつながりを必要とする生き物、という考えの下、ケ  
ア・ファーストを掲げ、寄り添い、支えて、社会的なつながりを取り  
戻すことを目指しています。大都市は、独りで生きていくのに向いて  
いますが、つながりは弱くなります。サミュ・ソシアルは、いつでも  
つながるダイヤルサービスを提供しており、ここに電話すれば、  
医療や泊まる場所、食事など、必要としているものが受けられます。  
おにぎり仲間も、皆さんにとって必要な「つながり」となれるように  
頑張りたいと思います。



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい  
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麹町6-5-1 聖イグナチオ教会  
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごご  
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)